瓦曽根溜井の見学資料

谷古田堰元圦(1987.05.09撮影）

2014.03.01 鈴木恒雄　作成

谷古田用水元圦

埼玉県の煉瓦水門より抜粋

- 瓦曽根溜井からは　谷古田用水、東京葛西用水、八条用水が取水している。

　谷古田用水は、綾瀬川の右岸（現．左岸）流域の谷古田領（31村で構成され現・草加市、6村が川口市）をかんがいし流末は古綾瀬川へ落ちる。

- その起源は延宝８年(1680)の綾瀬川用水堰禁止令にまで遡る。

　それまでは谷古田領では、蒲生村に堰を設けて綾瀬川から取水していたが、綾瀬川に堰を設けることが禁じられたために、瓦曽根溜井を新たな水源としたのである。<u>（大きな河川の利水方針変更によりこの用水も影響を受けて新設された。）</u>**下線部　鈴木が加筆する。**

瓦曽根溜井航空写真

1961（S36）6．11撮影　国土変遷アーカイーブより

瓦曽根溜井航空写真

2007．5．12撮影　国土変遷アーカイーブより

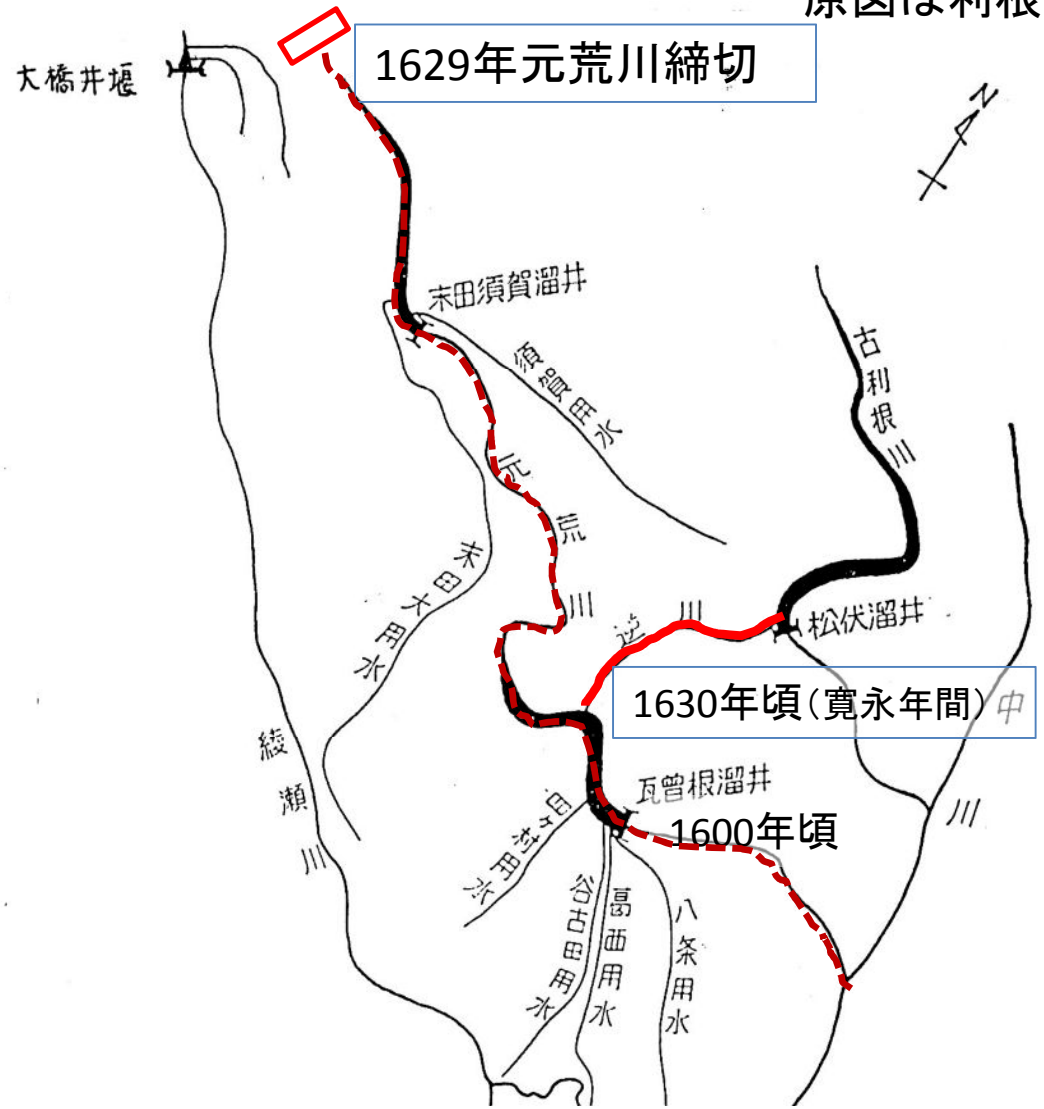
瓦曽根溜井年表

年代	元号	関連記事
1590年頃	天正18	伊奈忠次　関東平野の開発を始める。新田開発手形
1600年頃	慶長年間	瓦曽根溜井の創設
1629年	寛永6	元荒川締切　元荒川、水量激減する
1624－43年	寛永年間	松伏溜井創設、加用水の逆川の開設①（想定）
1623年	元和9	葛西井堀の開設、当初、八条領の悪水排除目的（実質、葛西用水元圦の開設）
1675年	延宝3	本所上水元圦開設
1680年	延宝8	谷古田用水元圦開設、綾瀬川堰止め禁止令のため
1719年	享保4	葛西用水の成立

鈴木恒雄の編集図

瓦曽根周辺用水系統図

原図は利根川水系農業水利誌より



瓦曽根溜井は、本来は元荒川を水源に成立(1600年頃)していた。1629年（寛永6）、元荒川の締切により、用水不足となった瓦曽根溜井に、古利根川から逆川を経由する水路（1630年頃（寛永年間））が開かれて、瓦曽根溜井の加用水として導入された。

現葛西用水の体系

橋本直子（2010）耕地開発と景観の自然環境学

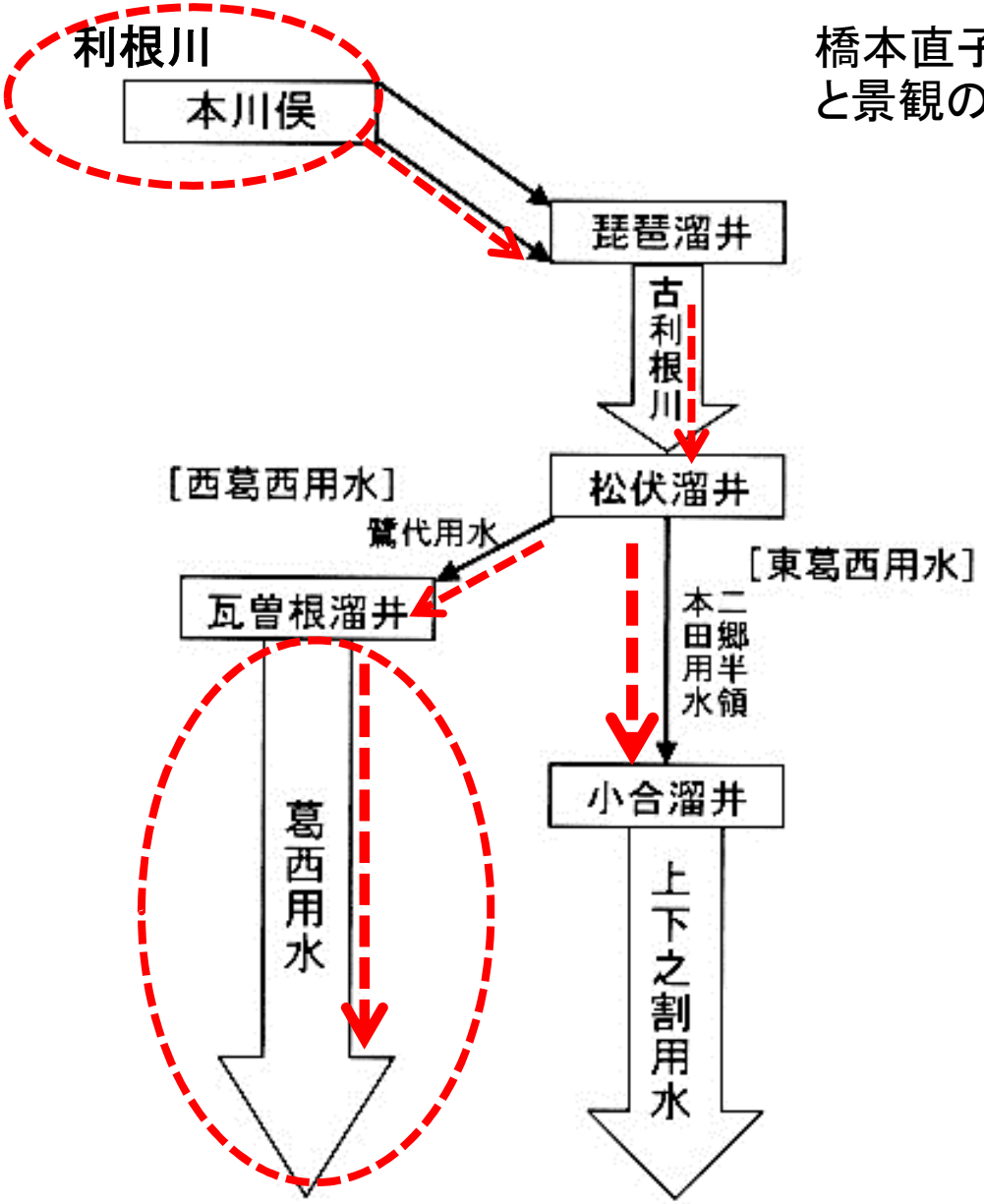
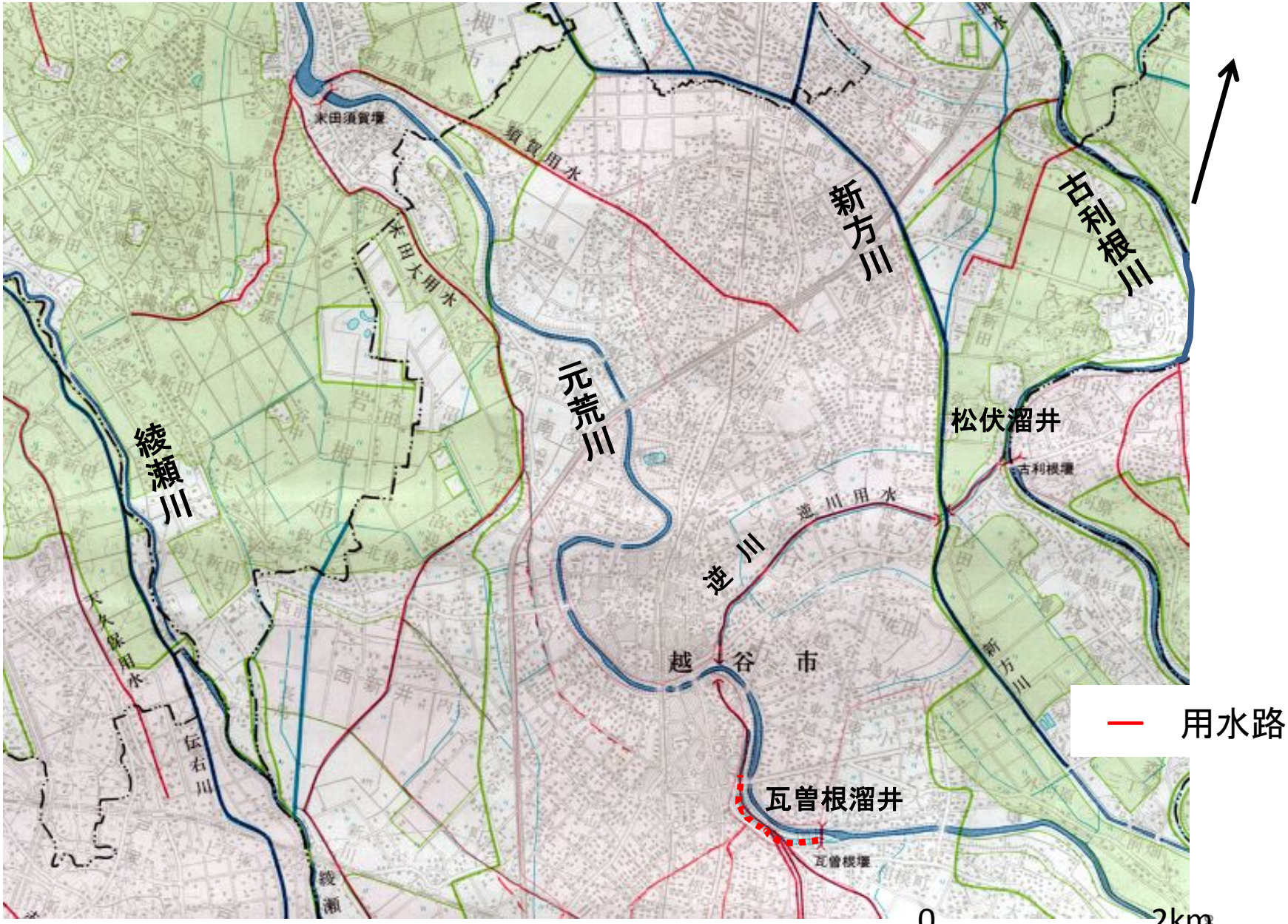


図 11-9　1729（享保 14）年以降の近世葛西用水体系図

加用水として古利根川から瓦曽根溜井に導水された後の葛西用水の体系図

中川流域用排水系統図

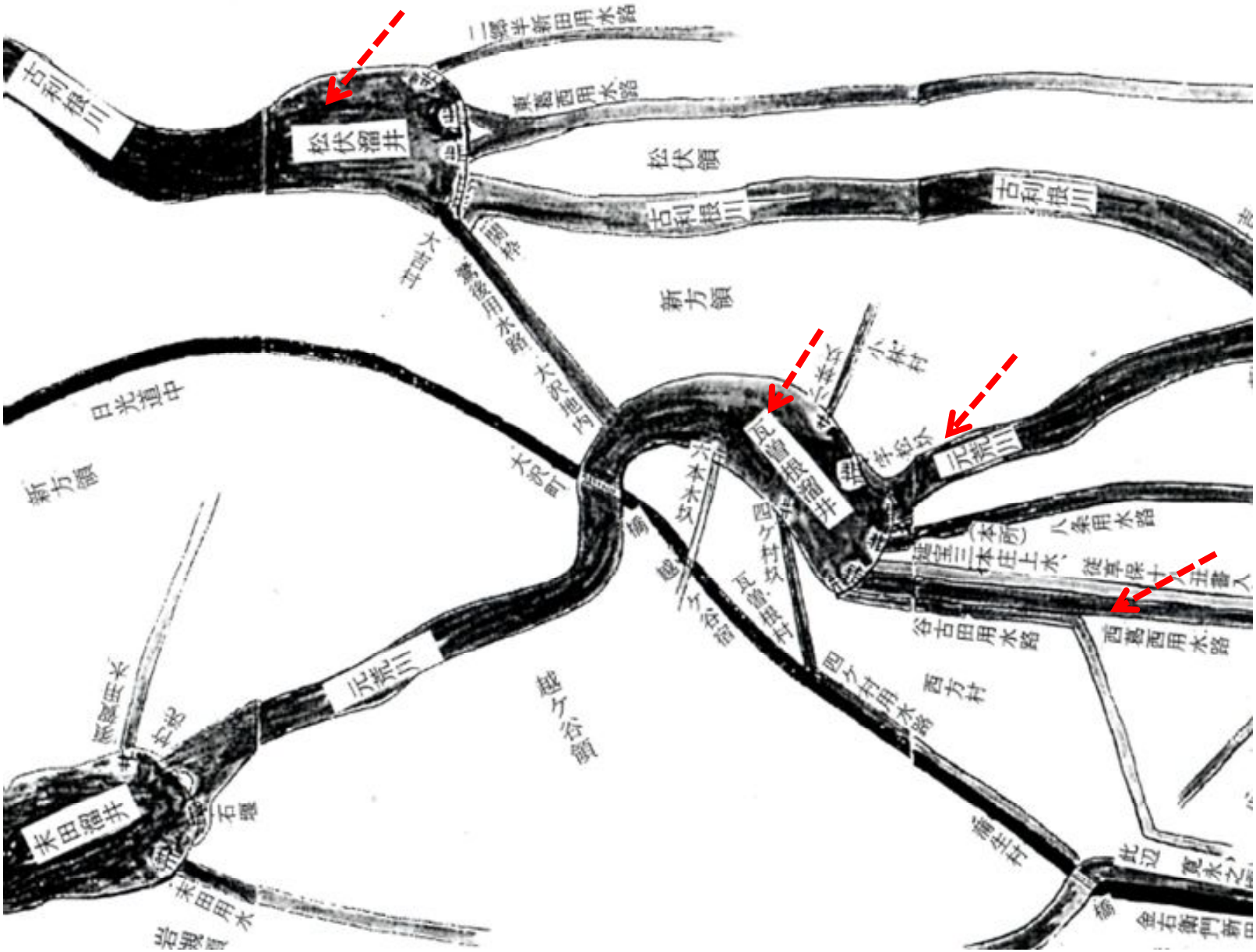


埼玉県農林部耕地課（1985）地図資料に加筆

瓦曽根外川筋絵図抜粋

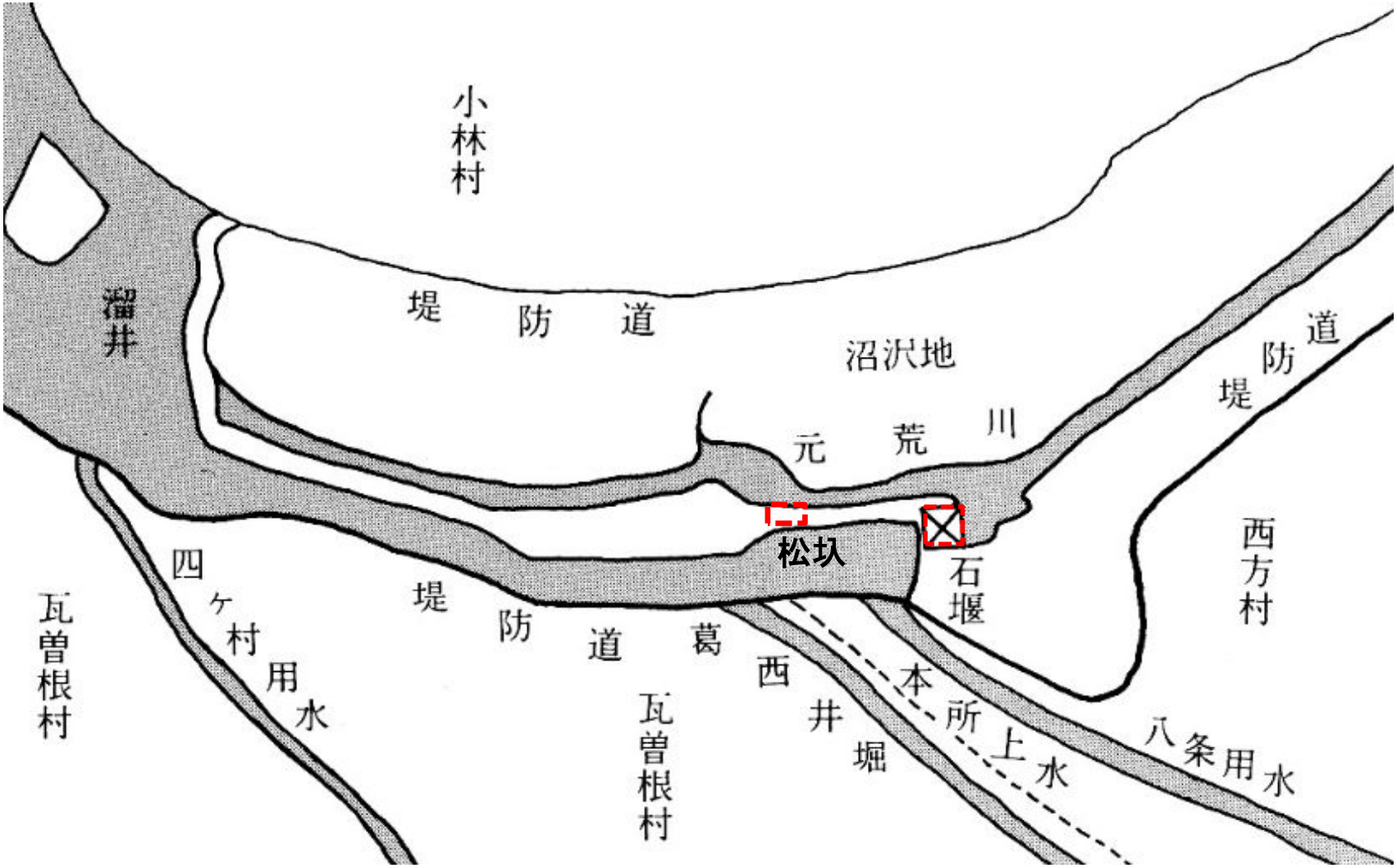
西方村旧記　付図

瓦曽根外川筋絵図抜粋



西方村旧記　付図を加藤幸一氏が解読したもの

瓦曽根石堰周辺図



葛西用水土地改良区（1989）葛西用水史（本編）より

瓦曽根堰周辺施設位置図

加藤幸一氏　資料に加筆

葛西用水元荒川伏越吐口

1987年(S62)鈴木恒雄　撮影

元荒川宮前橋下流

1987年（S62）鈴木恒雄　撮影

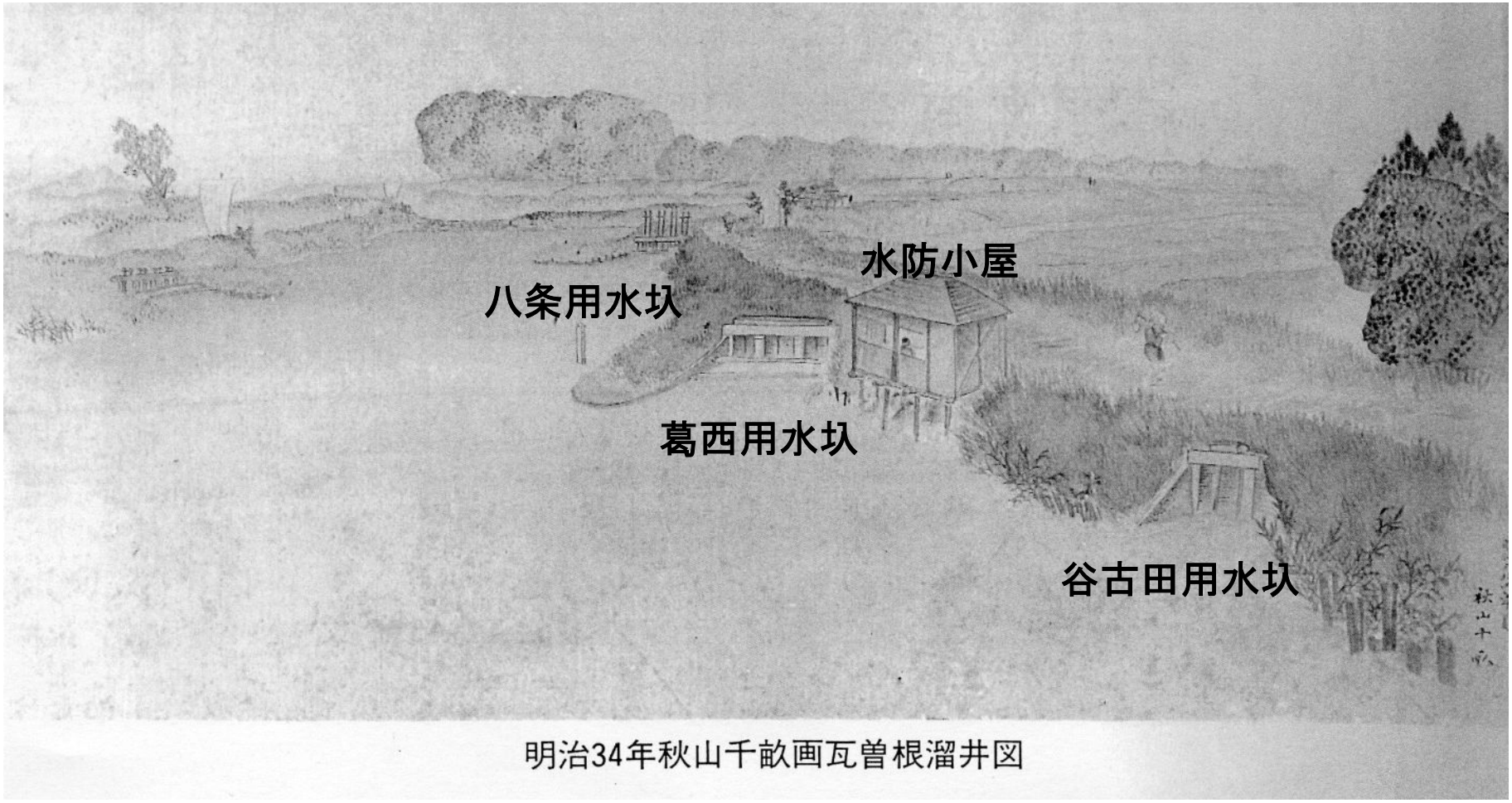
四ヶ村用水圦付近

1987年（S62）鈴木恒雄　撮影

葛西用水圦、谷古田用水

1987年（S62）鈴木恒雄　撮影

瓦曽根溜井図(1901)



明治34年秋山千畝画瓦曽根溜井図

葛西用水土地改良区（1989）葛西用水史資料編（上）より

葛西用水圦の現在

用水圦の現在状況　　鈴木恒雄　撮影2014.02

ヤフーブログより

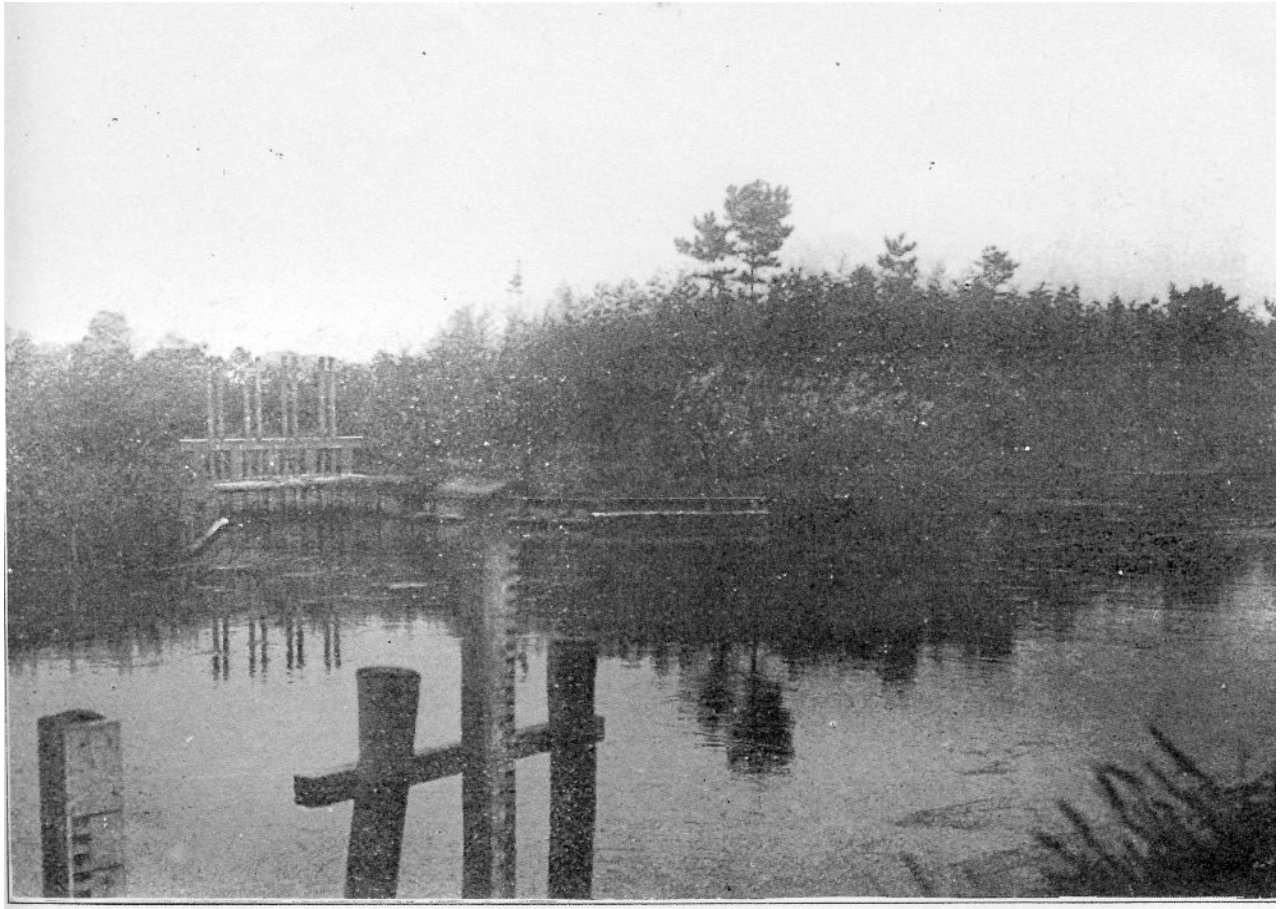
八条用水圦の現在

用水圦の現在状況　　鈴木恒雄　撮影2014.02

瓦曽根堰（赤水門）

1987年（S62）鈴木恒雄　撮影

瓦曽根溜井（松圦樋）



瓦曽根溜井松圦樋

溜井に流入した余水は、この松圦から排出されていた。用水の圦とは用途がことなるが、溜井管理のための重要な施設であった。

葛西用水沿革史（1993）より

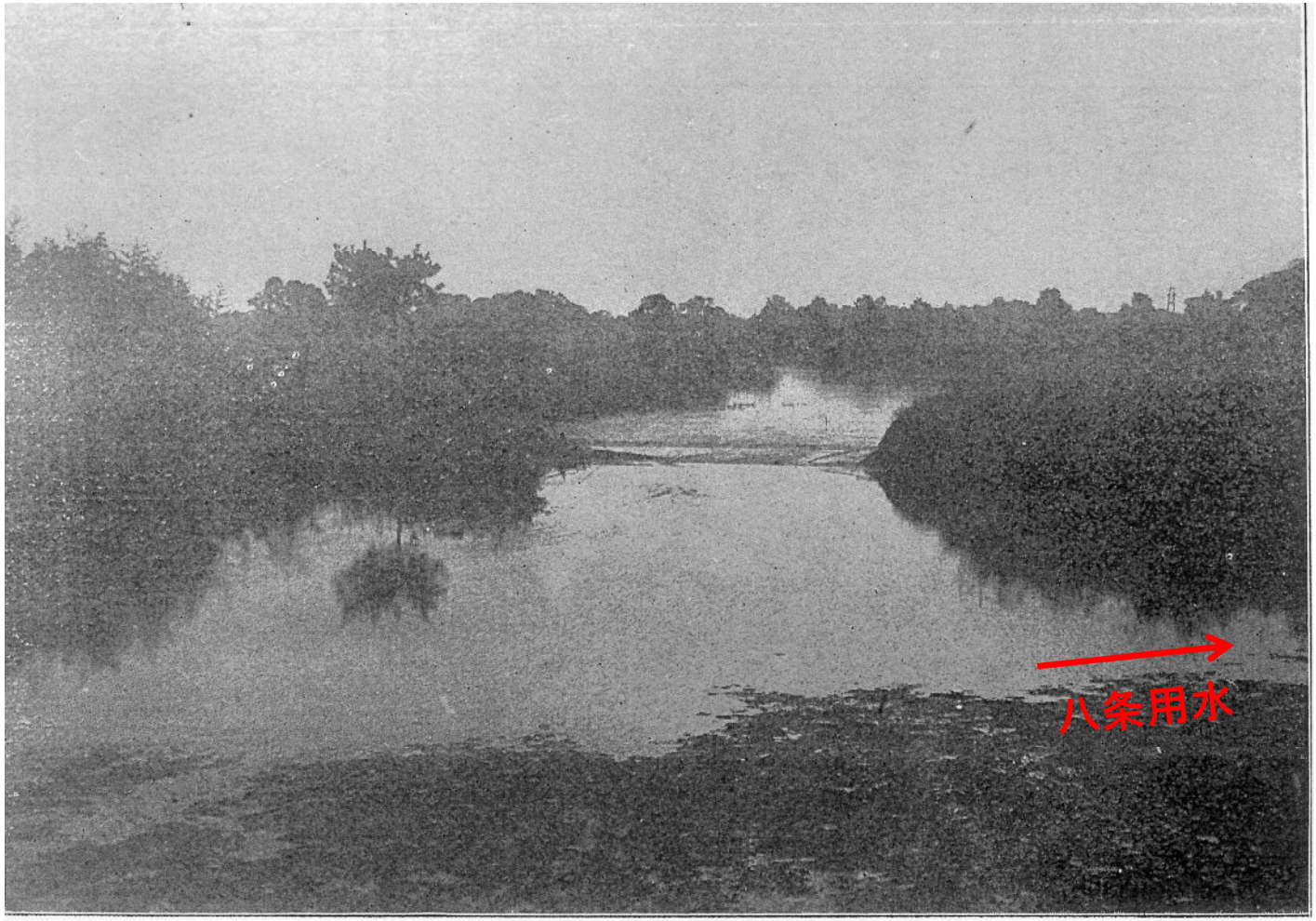
瓦曽根堰（赤水門）

1987年（S62）鈴木恒雄　撮影

瓦曽根堰の現状

現在状況　　鈴木恒雄　撮影2014.02.23

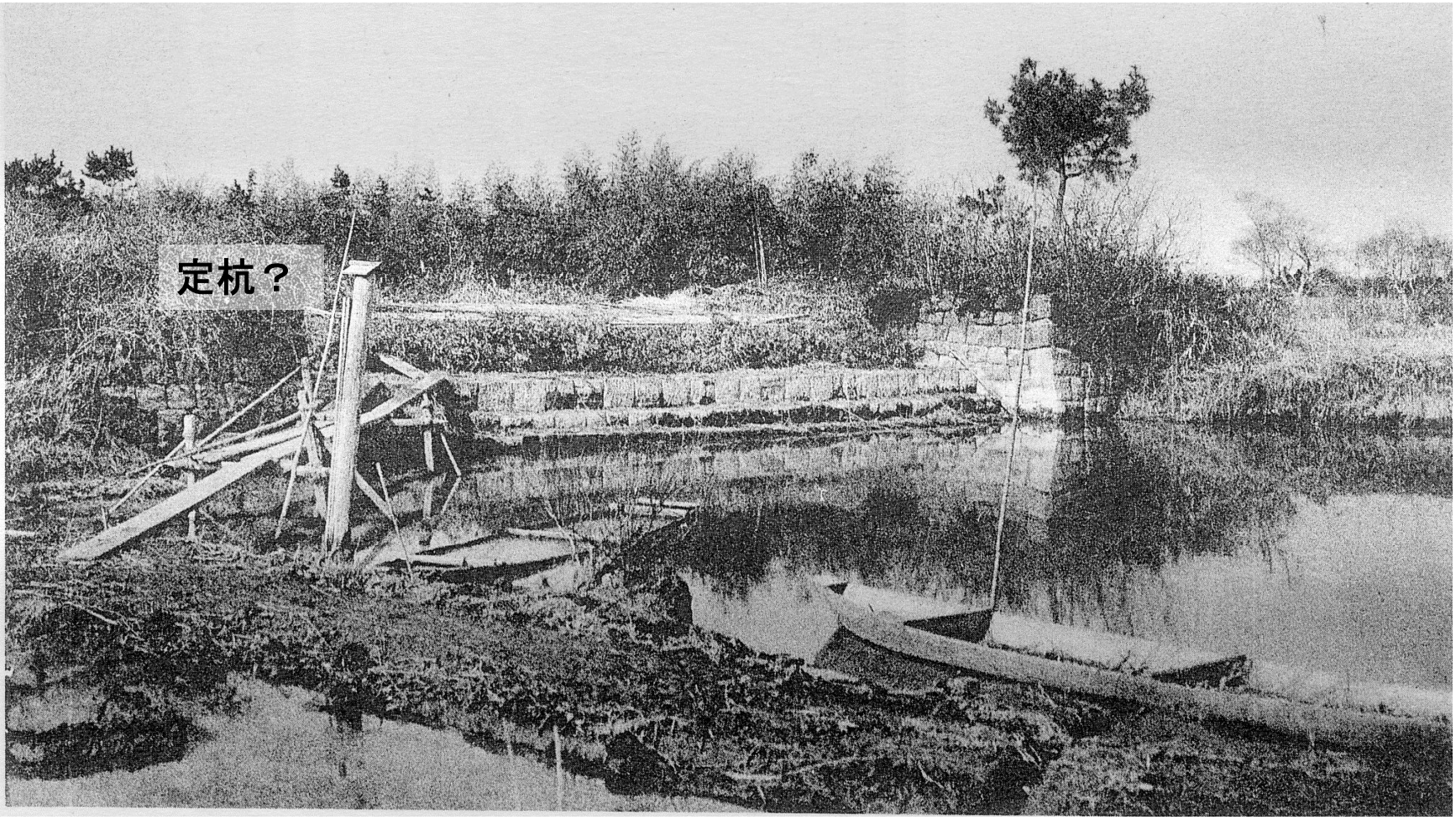
瓦曽根溜井石堰の様子



瓦 曾 根 溜 井 石 堰

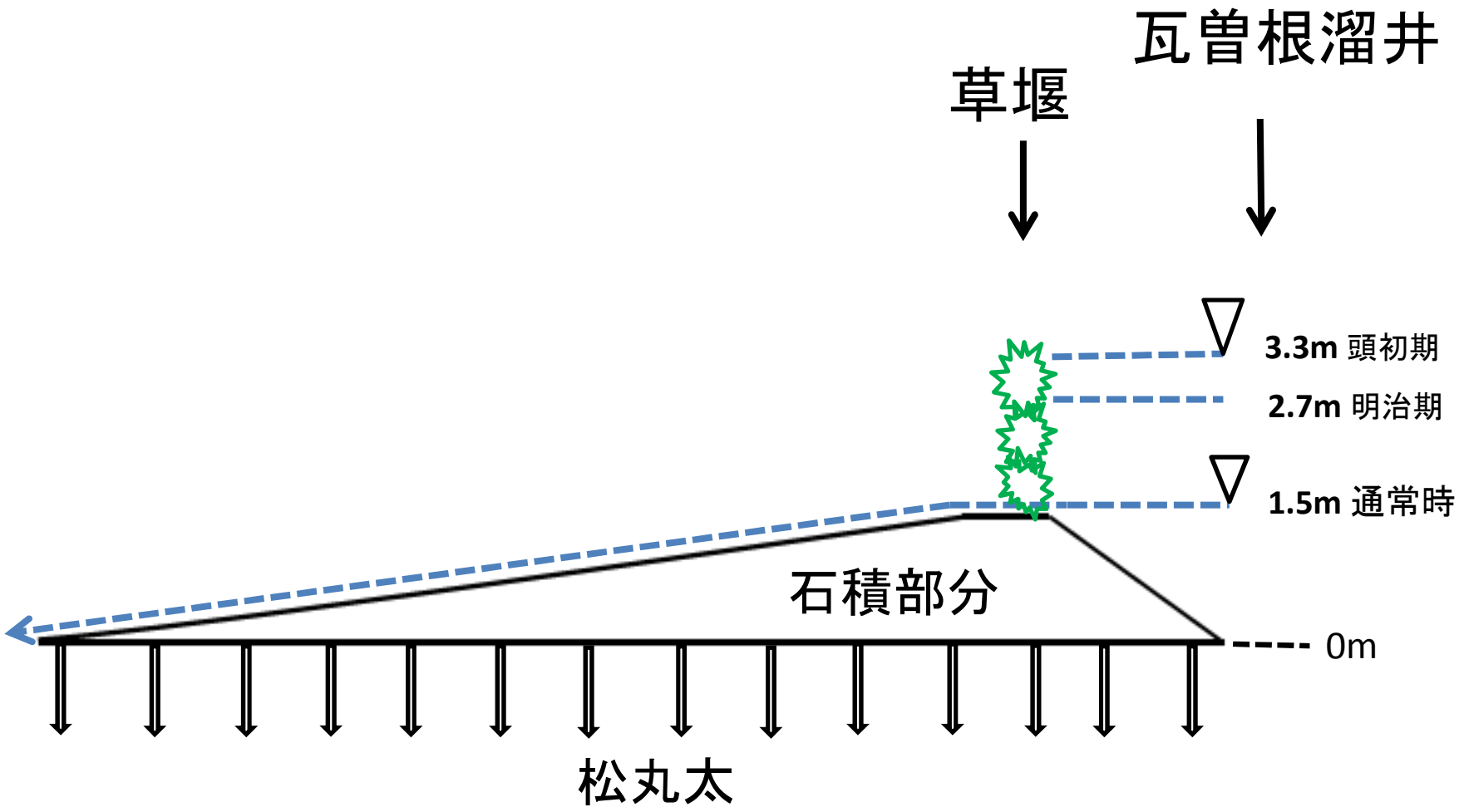
葛西用水土地改良区（1993）葛西用水沿革史　より

瓦曽根溜井石堰



浦和図書館（1994）埼玉県写真帳より

瓦曽根 石堰の断面図（想定）



葛西用水史（1989）他の記事・写真をもとに、当時の石堰の様子を図化してみた。

これは1924（大正13）まで存在した。　鈴木恒雄　作成

松伏溜井（古利根 堰）の様子

古利根堰と野田道（大10）

1921年（大正10）
右は野田街道

現古利根堰

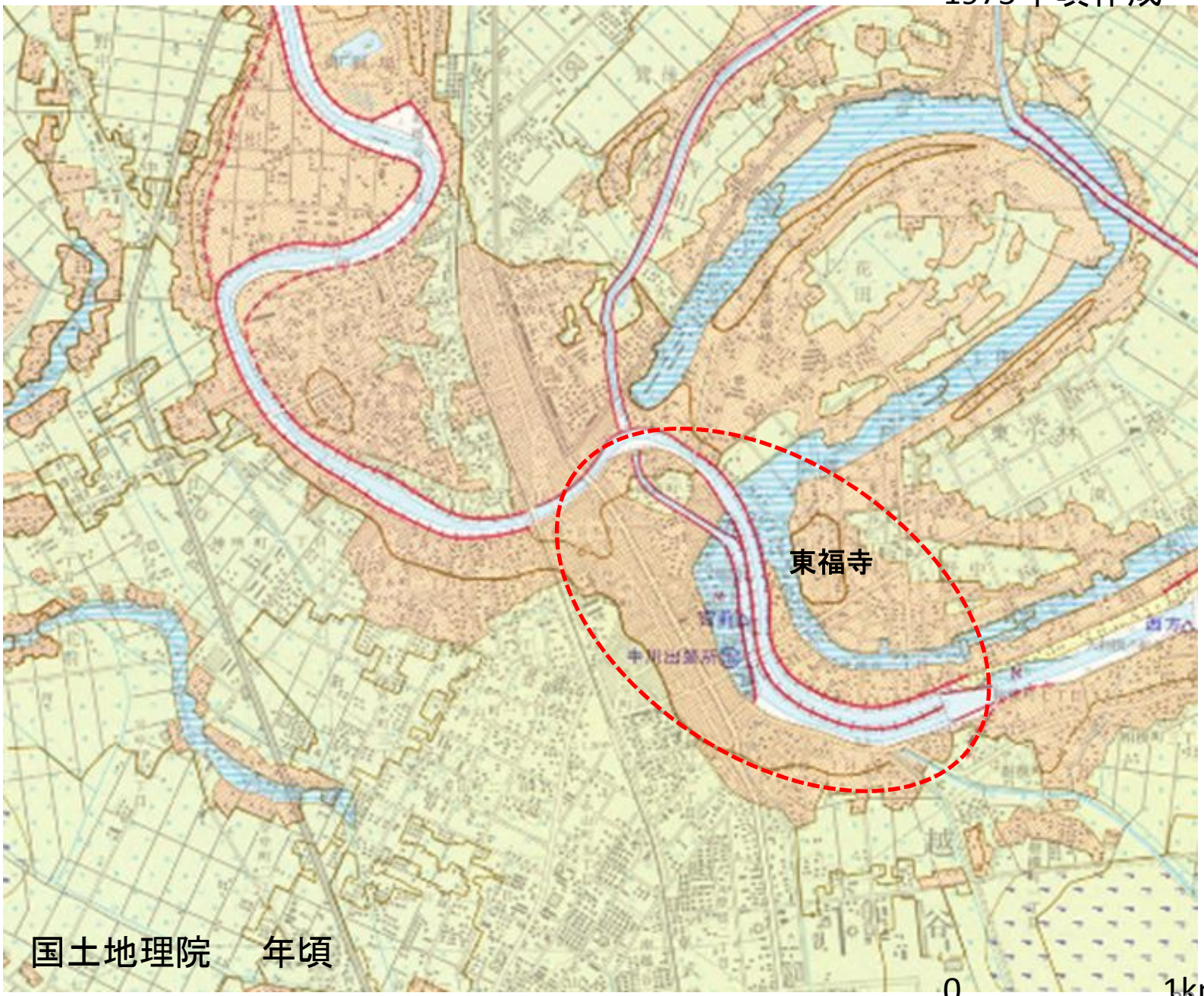
葛西用水史より

元荒川　末田･須賀堰

1987年（S62）鈴木恒雄　撮影

治水地形図　越谷　二万五千分一

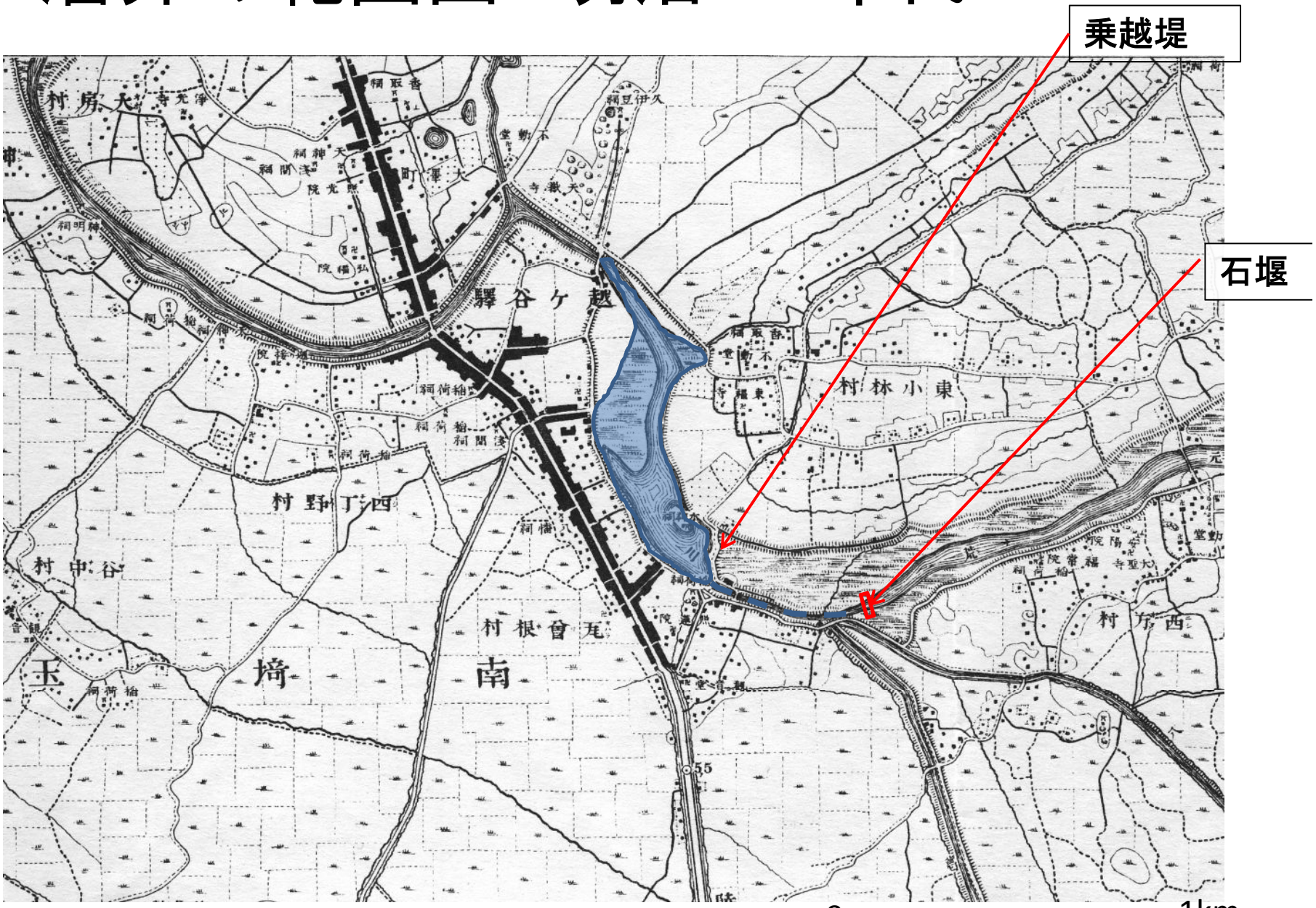
1975年頃作成



0　1km

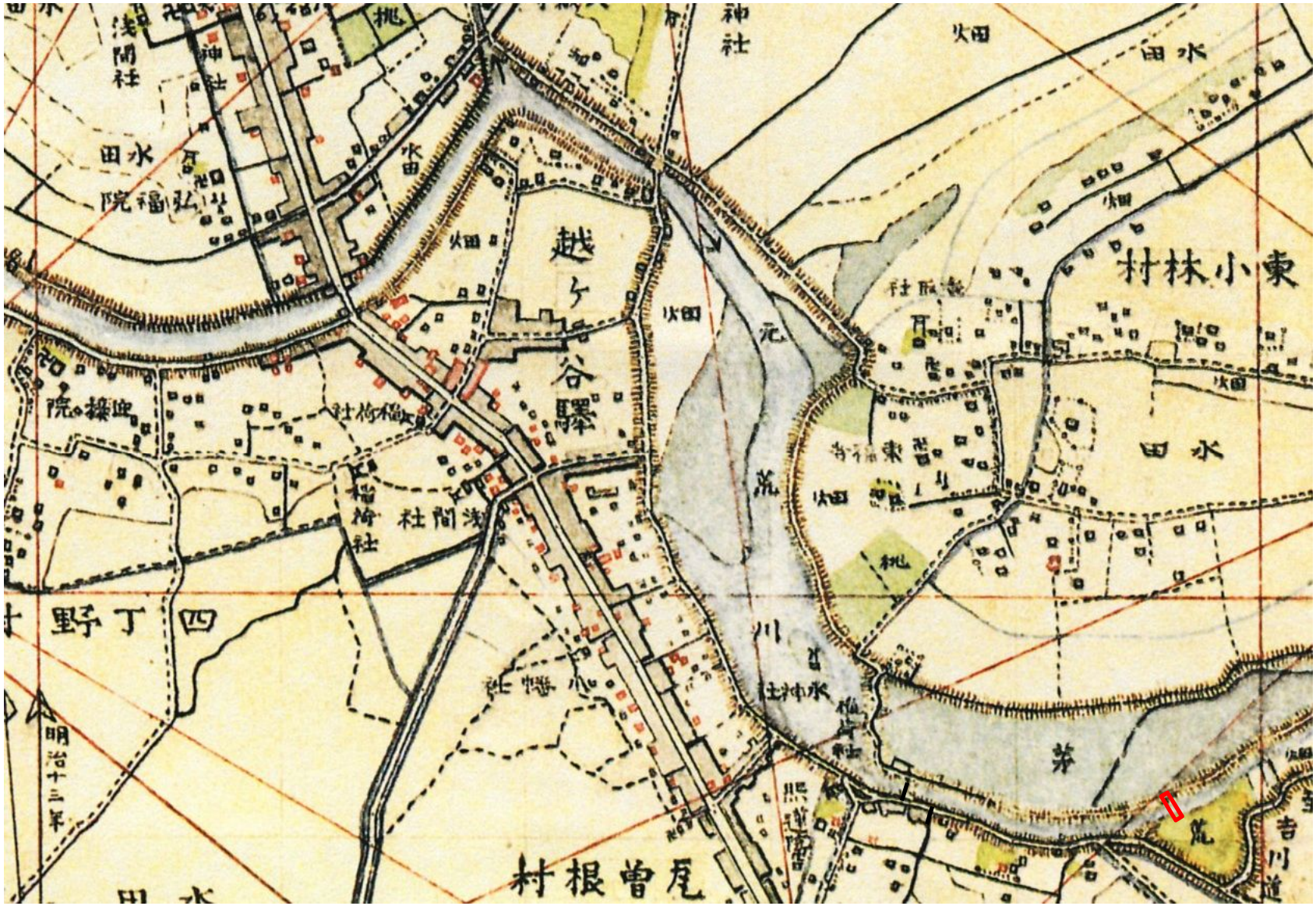
伏越による分離は元荒川の汚濁水と用水を分離するために実施

溜井の範囲図　明治10年代



陸地測量部　2万分の1　1880年（M13）

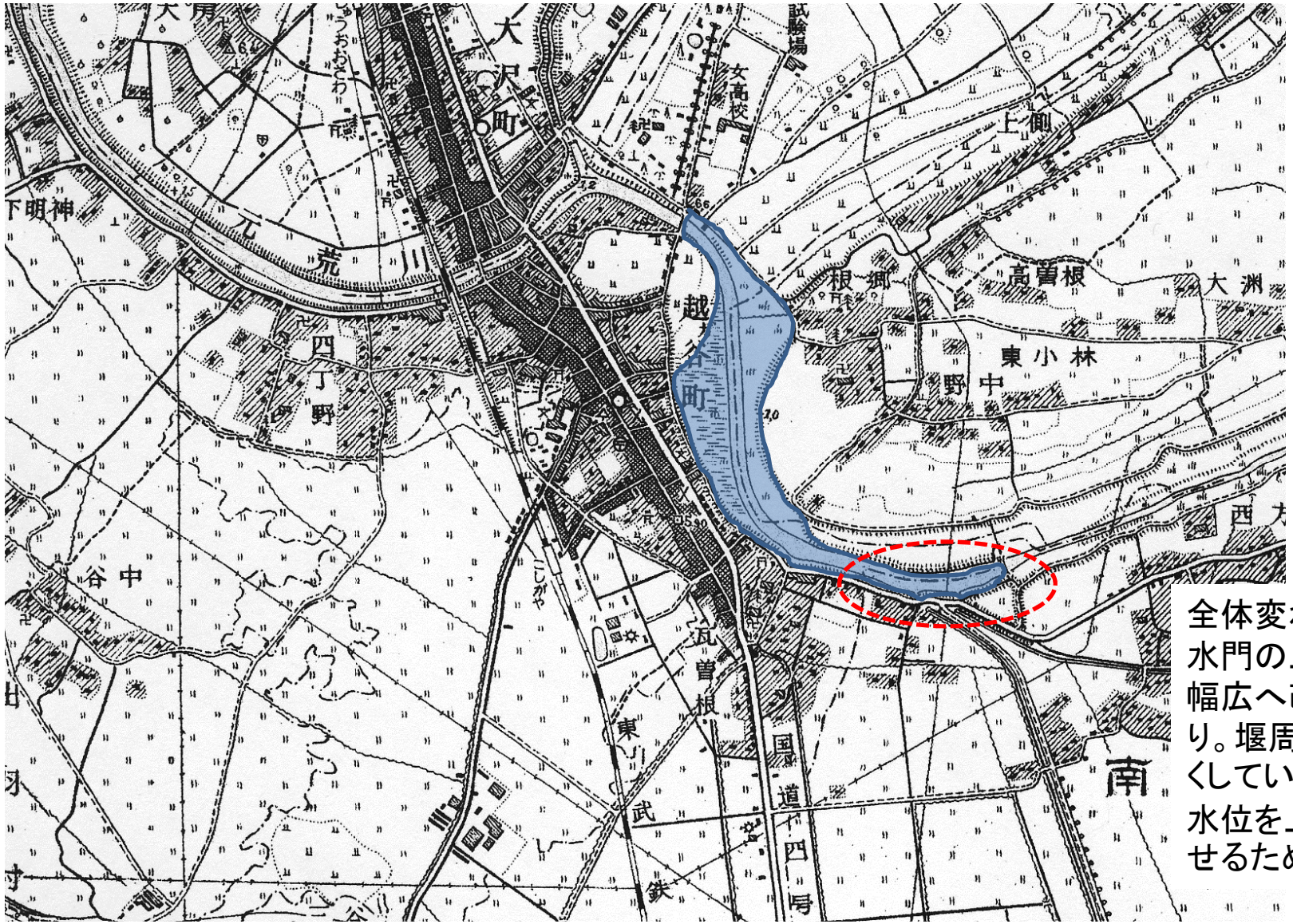
溜井付近の彩色迅速測図



陸地測量部　2万分の1　1880年（M13）

0　500m

溜井の範囲図　昭和20年代

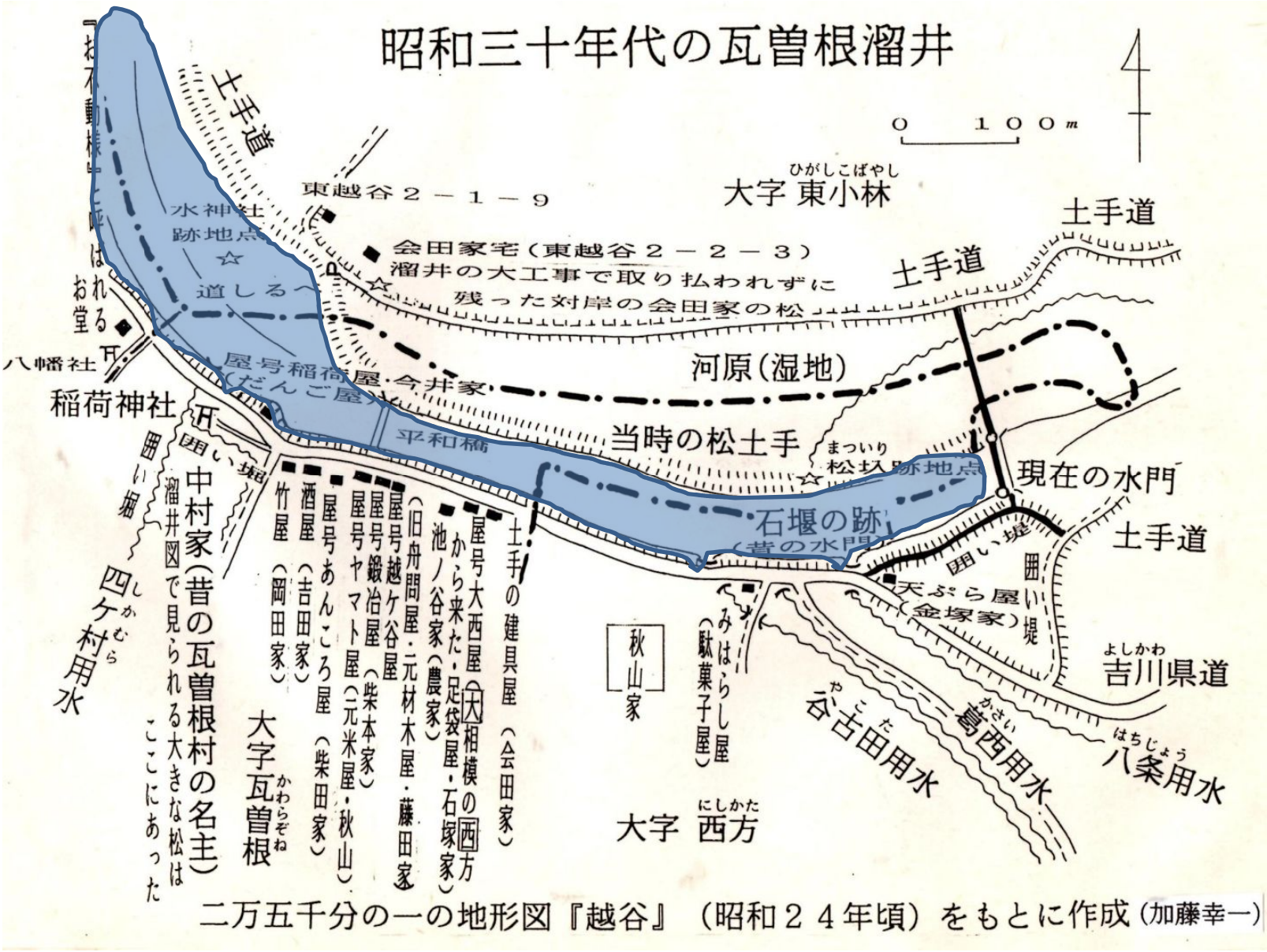


全体変わらず
水門の上流部
幅広へ改修あ
り。堰周辺を狭
くしているのは、
水位を上昇さ
せるためか？

0　1km

地理調査所　2．5万分の1　1952年（S27）

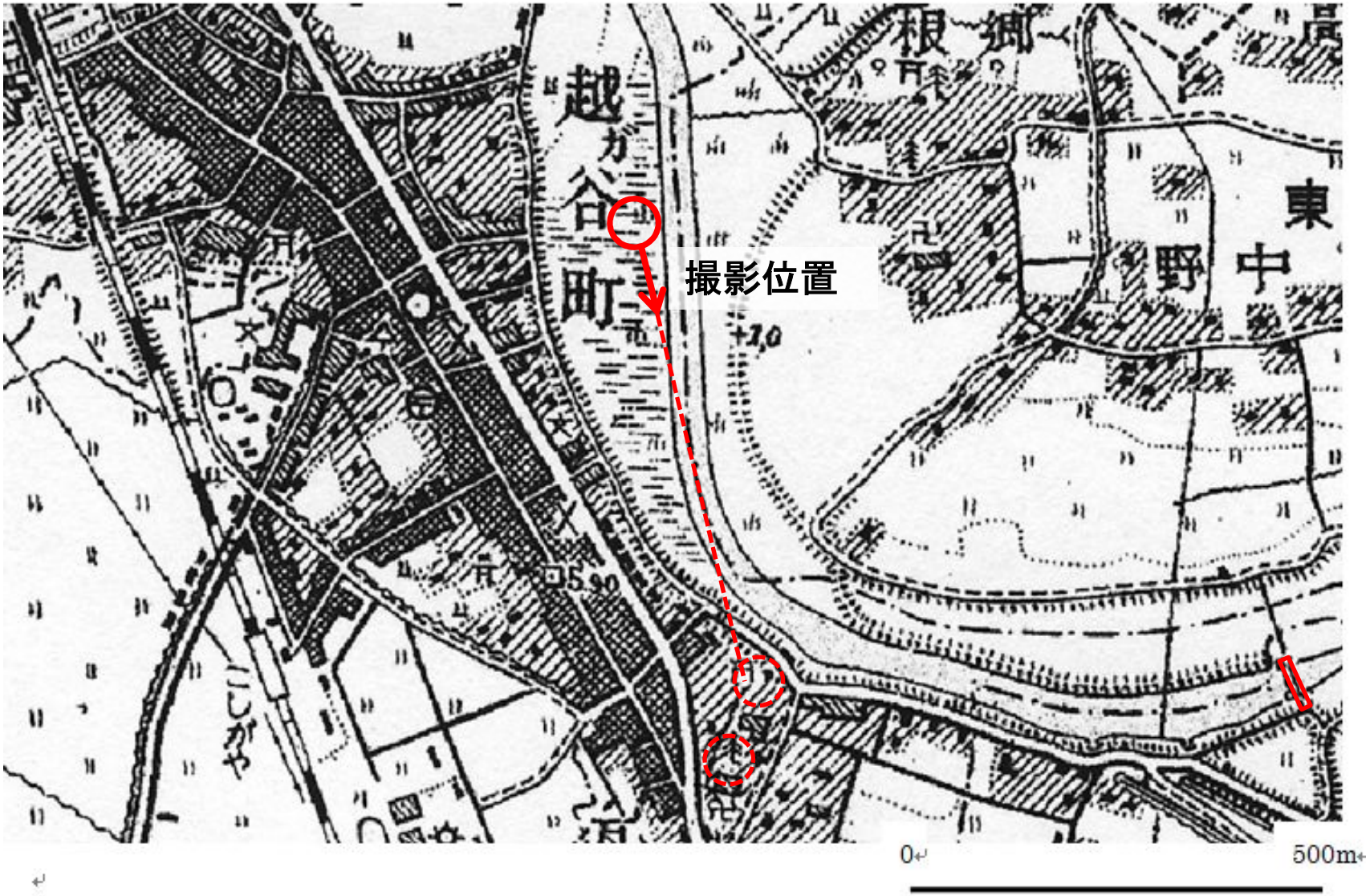
昭和30年代の瓦曽根溜井



二万五千分の一の地形図『越谷』（昭和２４年頃）をもとに作成（加藤幸一）

加藤幸一氏　資料に加筆

1958年(昭和33)時点の溜井の撮影位置

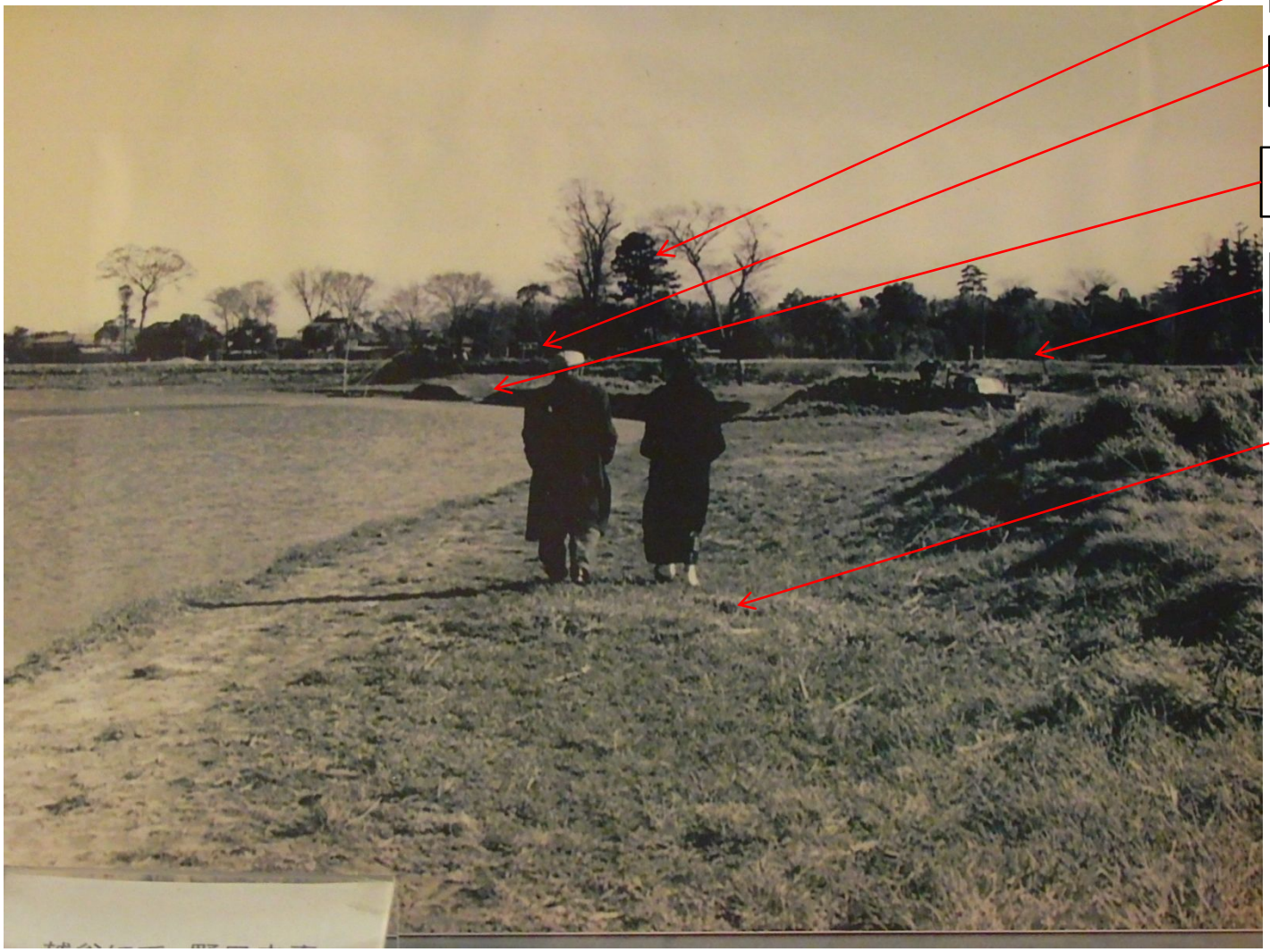


2万5千分の1地形図　越谷　昭和27年発行　より

１９５８年（昭和33）の溜井の風景

越谷図書館野口富士男展示コーナーの写真より

溜井風景の解説



照蓮院裏の独立樹

稲荷社の鳥居

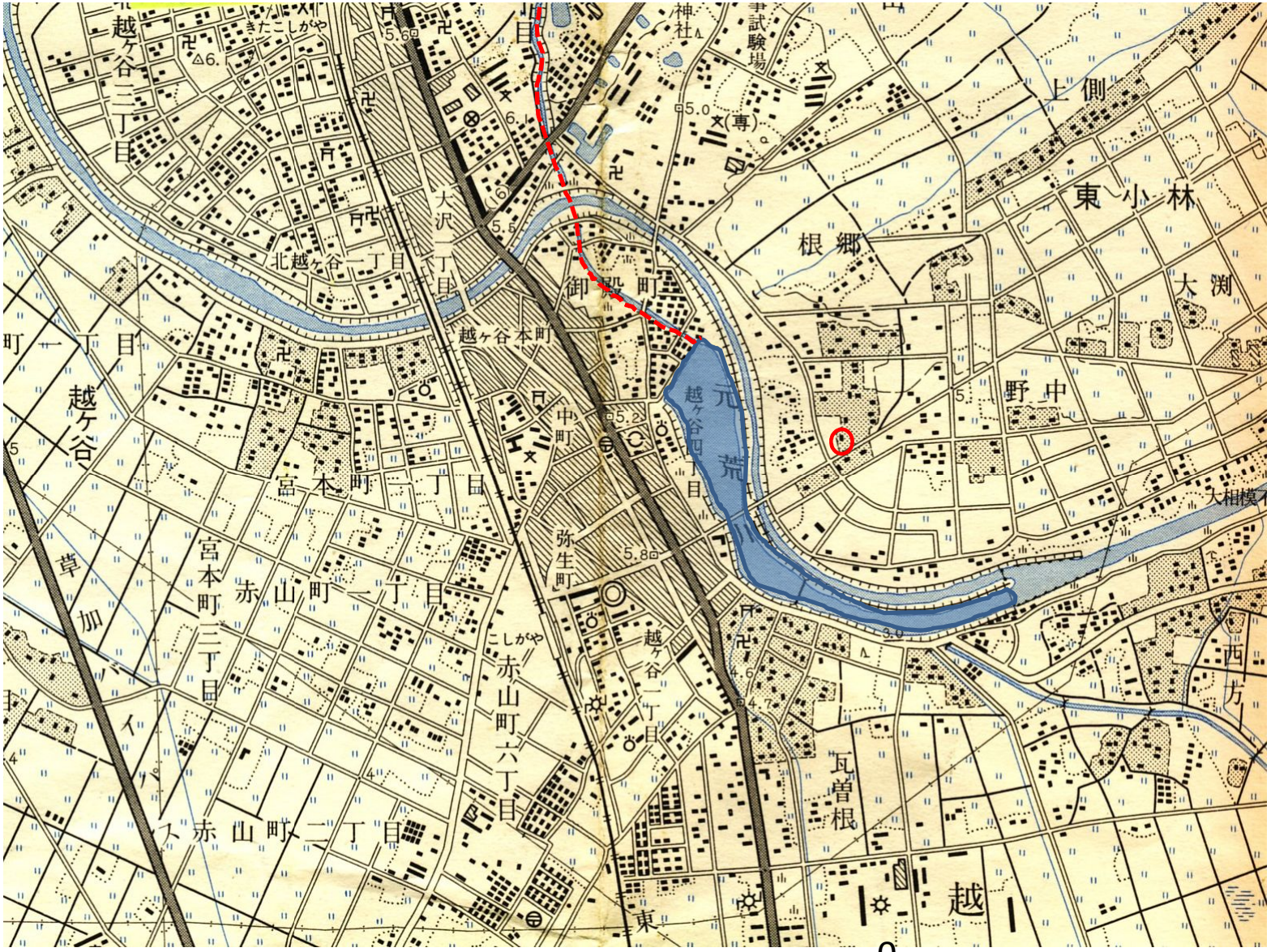
四ヶ村用水の取水口

土手の道

溜井の底、冬場は歩行が可能、一部は畑になっている。（航空写真より）

越谷市図書館野口富士男展示コーナーの写真より

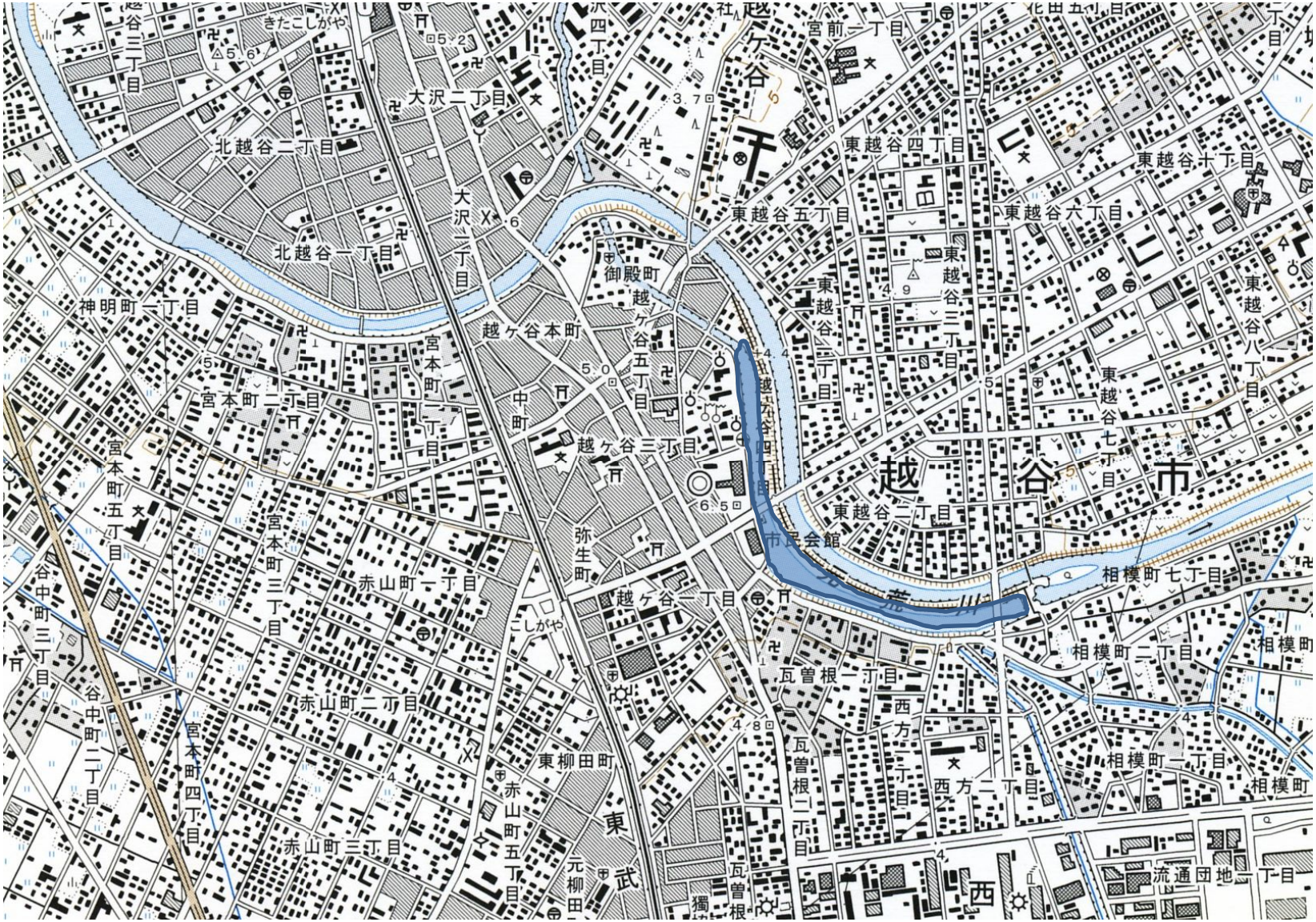
溜井の範囲図　昭和40年代



0　1km

国土地理院　2．5万分1　　1967年（S42）

溜井の範囲図　平成18年



国土地理院　２．５万分の１　地形図より

0　1km

溜井の現況写真01

2013．1（H25）鈴木恒雄　撮影

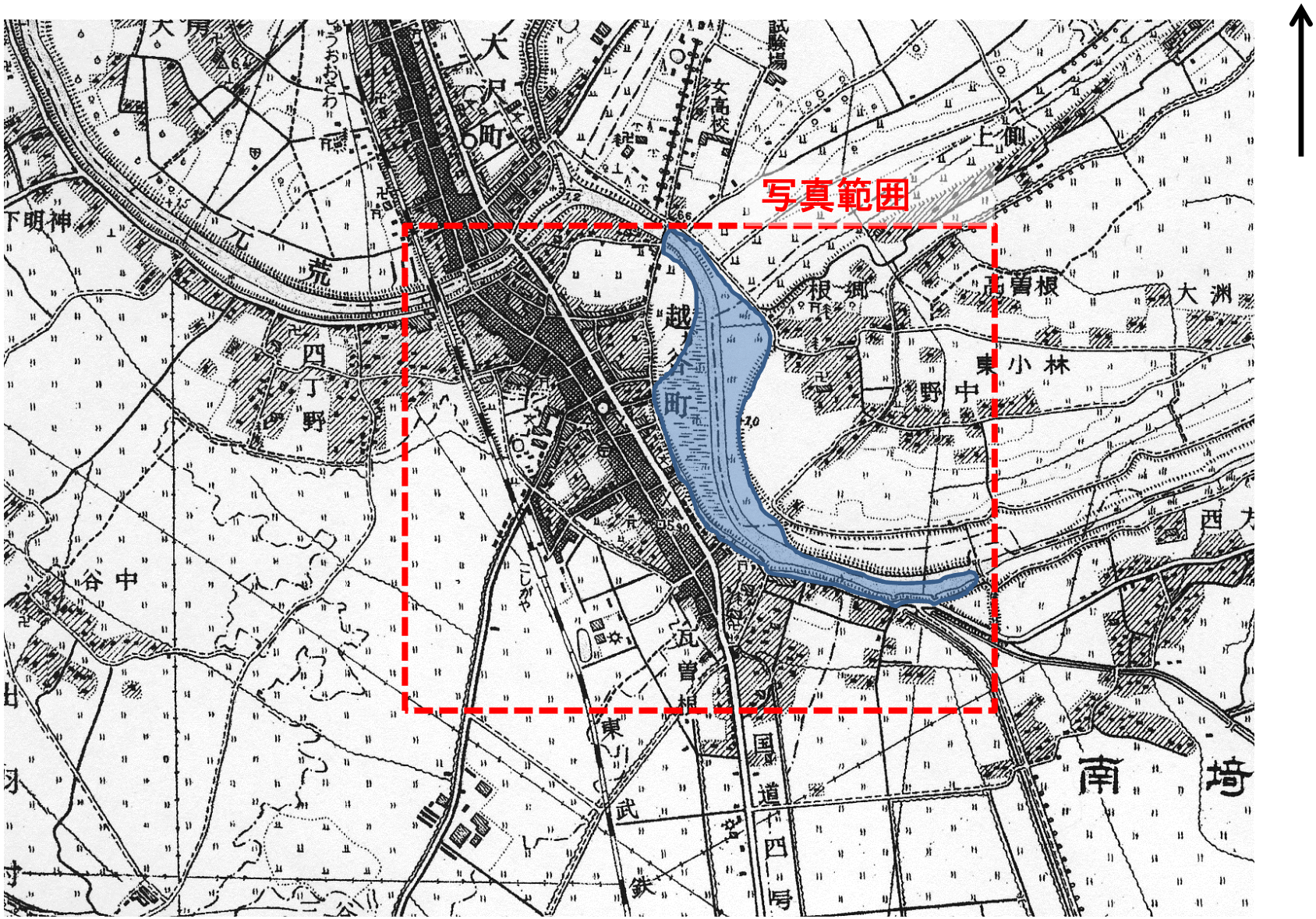
溜井の現況写真02

瓦曽根溜井　埼玉県HP　より

溜井の現況写真03

2013．1（H25）鈴木恒雄　撮影

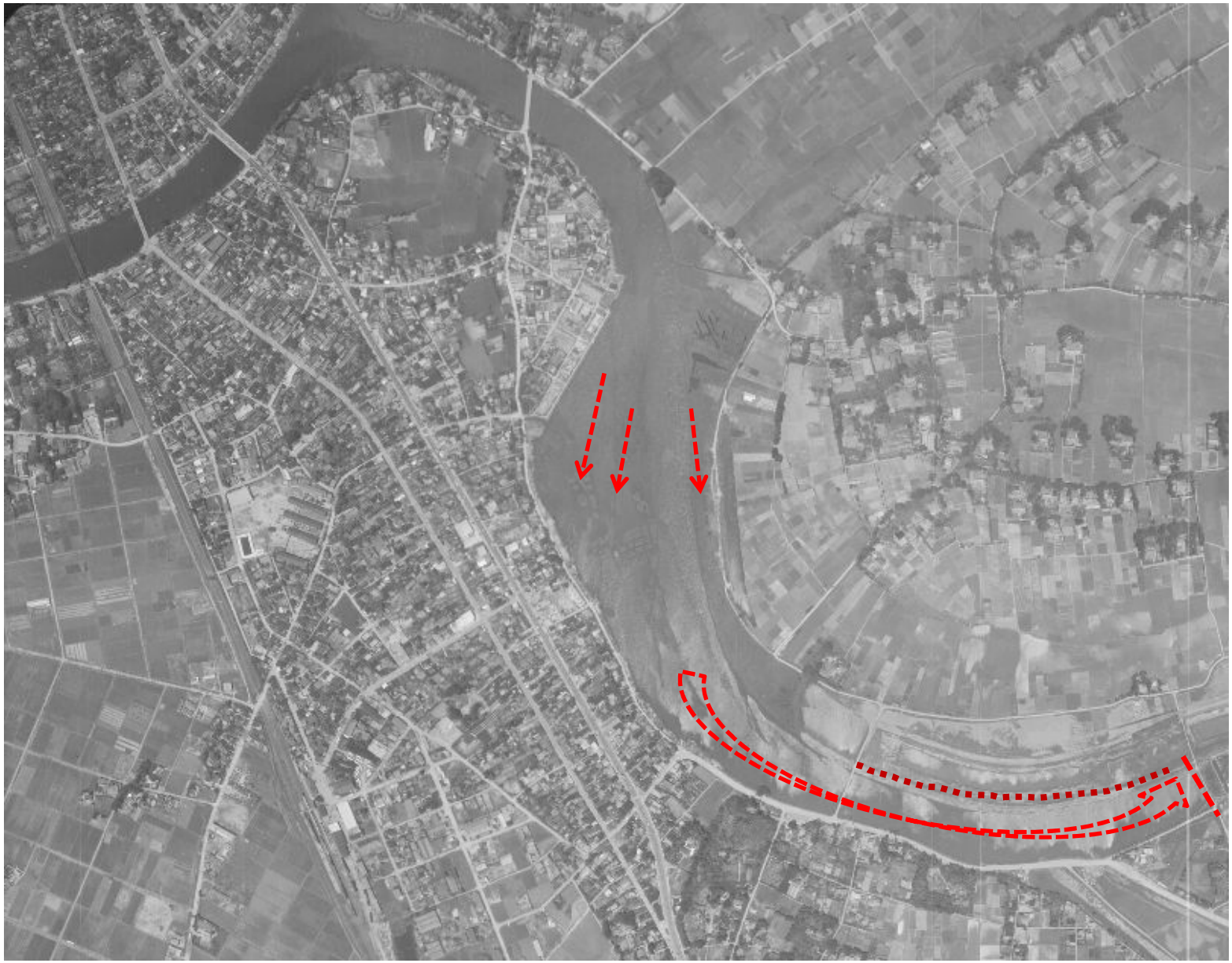
溜井の状況　昭和20年代



地理調査所　1952年（S27）

0　1km

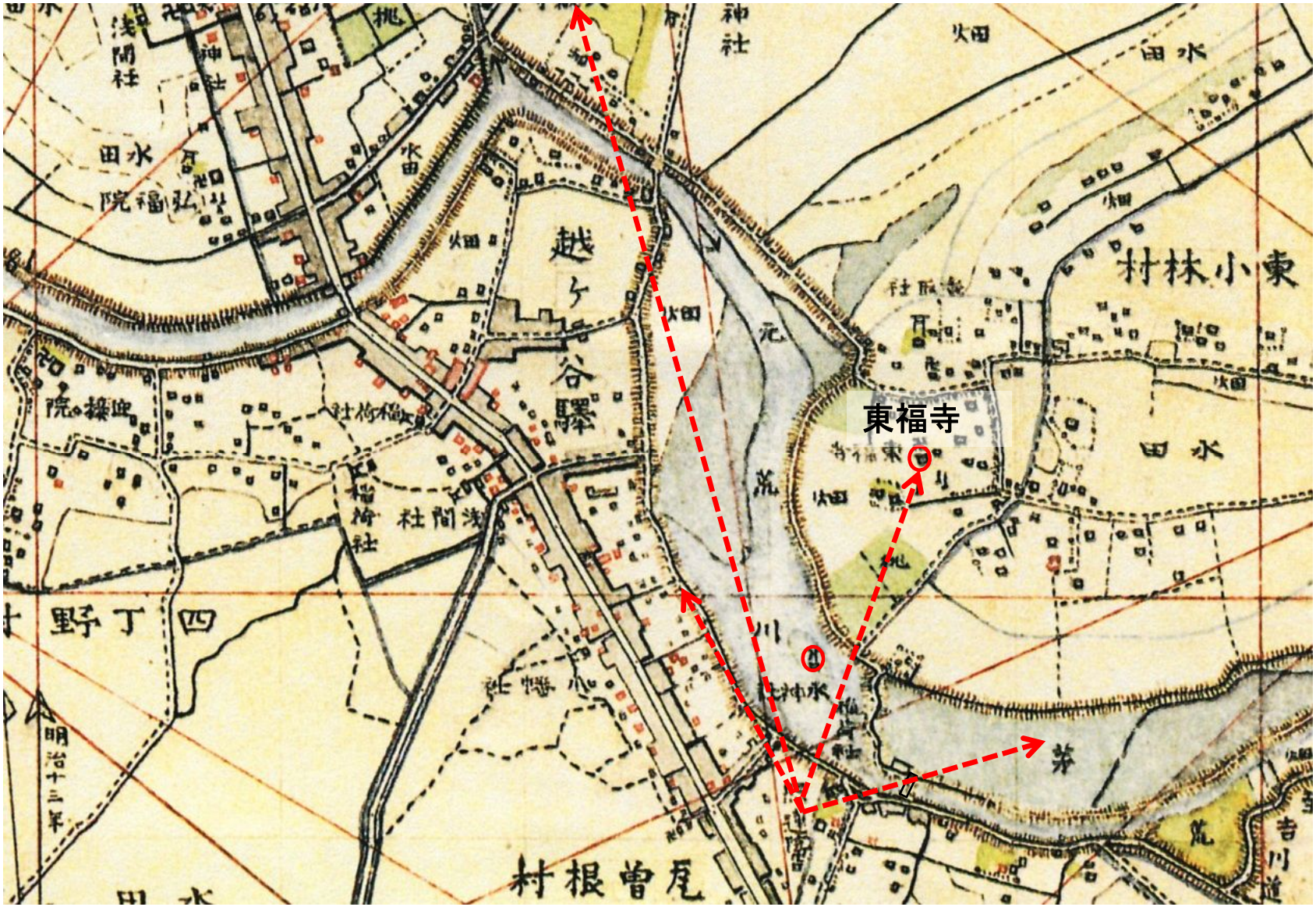
航空写真に見る溜井（S30年代）



1961（S36）6．11撮影　国土変遷アーカイーブより

溜井図の描画位置図

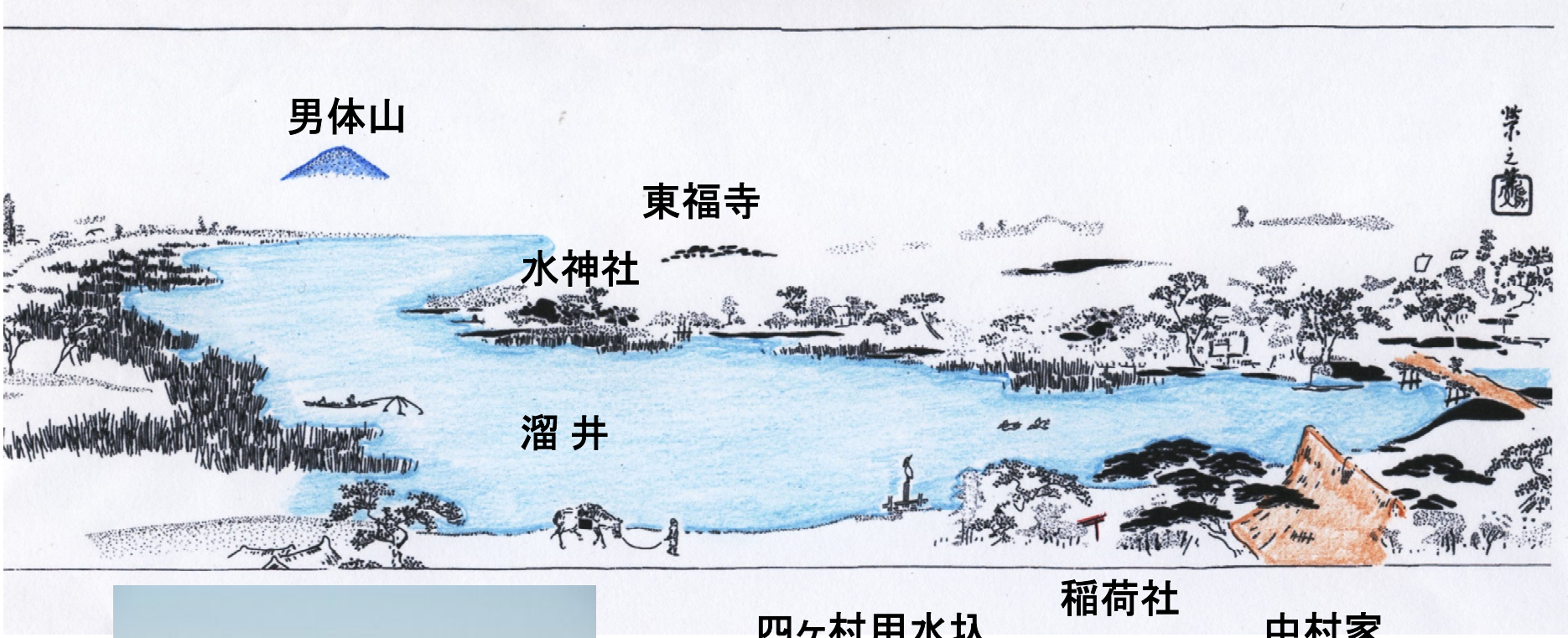
男体山



陸地測量部　2万分の1　1880年（明治13）

0　500m

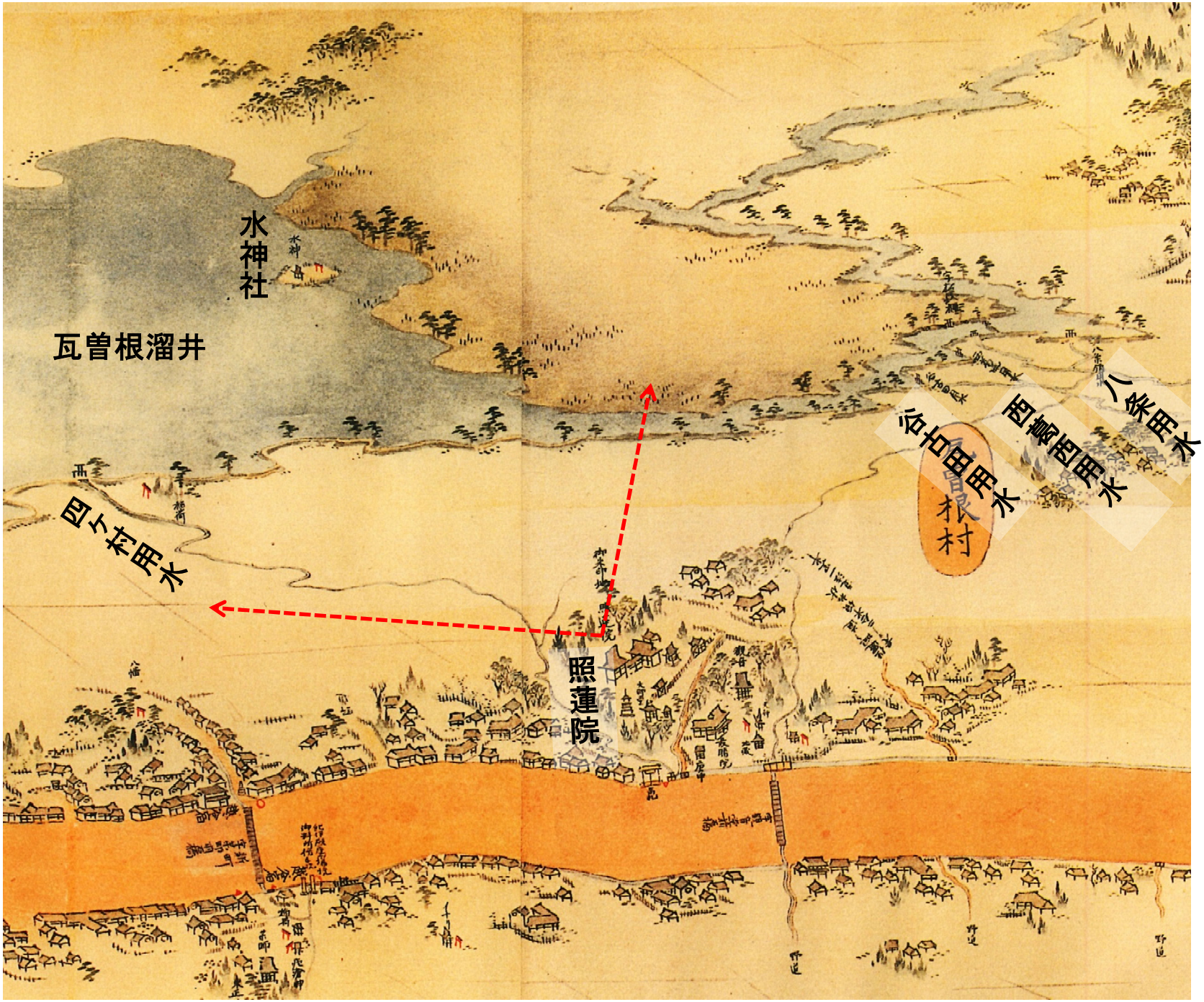
瓦曽根溜井図（彩色）瓦曽根から北側望む



栗橋から見る男体山　日本財団HPより

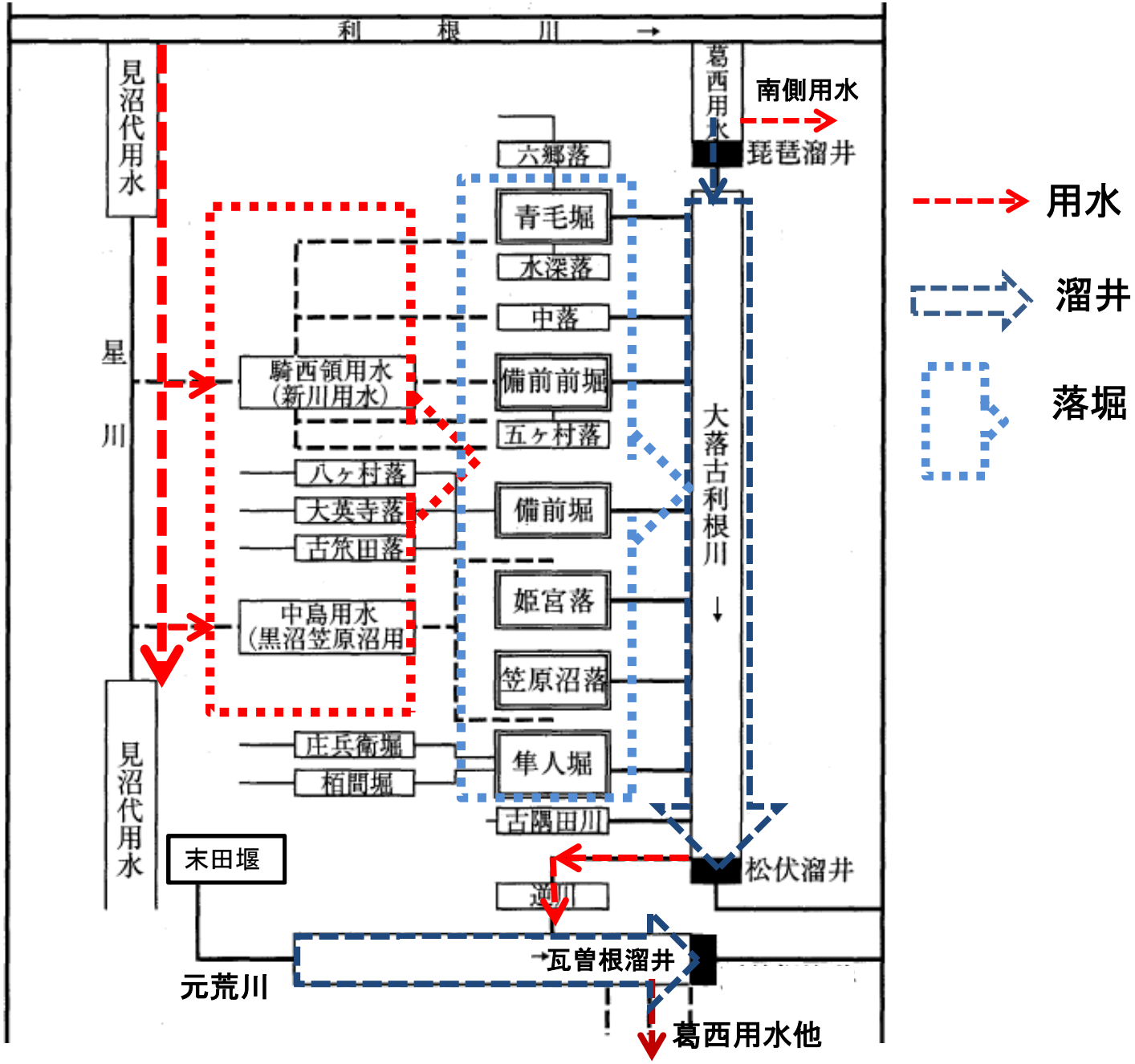
鳥文斎栄之の絵を加藤
幸一氏が模写したものに
鈴木が色をつけたもの

日光道中分間延絵図



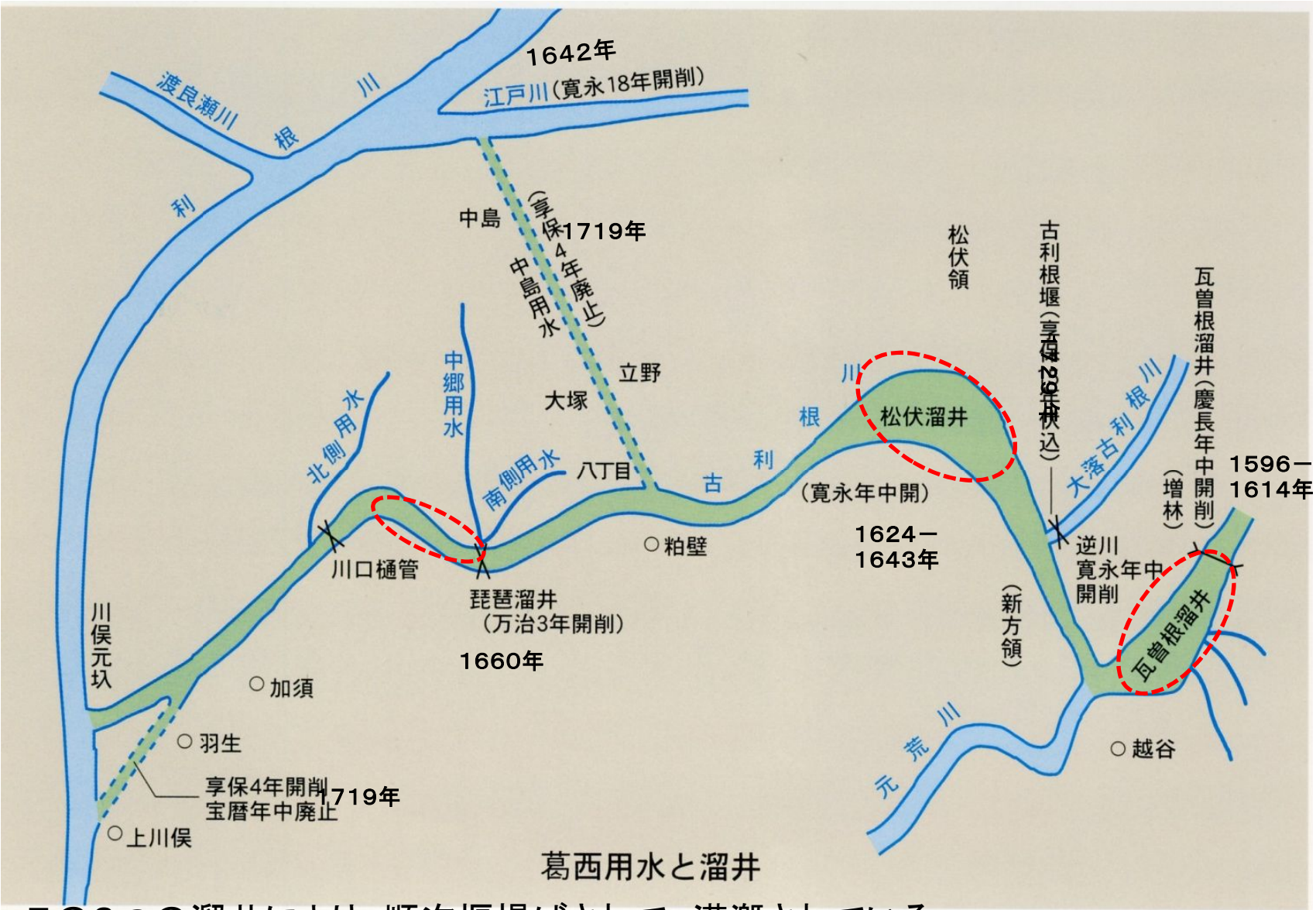
葛西用水、見沼代用水、用排水関係図

用水の反復利用図



峰岸正人他(2007)地域に根付く溜井　農業土木学会誌　Vol　75　No　2　の図に加筆

葛西用水と溜井



この3つの溜井により、順次堰揚げされて、灌漑されている。

「目で見る埼玉の開発」より

鷲宮町立郷土資料館（2001）第4回特別展　合同葛西用水展　資料に加筆